



「自律・自走し考動する 80 期生」

■ 教科より 前期のがんばりどころ ②

保健体育

前回の学年通信で伝えたことに関連します。体育においては、昨年よりもさらに、運動量・運動強度のレベルをアップさせていきたいと目標にします。特に、体育が好きではない人・得意ではない人にも体育を自信を持てるようになってほしいです。進学指導特色校は、5教科の授業は厳しい。体育も厳しい。をモットーに。

保健においては、昨年同様に、世の中の『保健』に関する様々な出来事にいっぱい触れること、です。『時事保健』をもっともっと充実させることを目標にします。

家庭科

家庭科は「自分の暮らしを自分でつくる力」を育てる授業です。将来の自分に役立つ形で選択できるようにすることが大切です。被服実習が始まりますので、授業中の指示を丁寧に聞き、完成形を想像しながら製作を進めていってください。

■ 改めて、学校資源の活用を

一年前の土曜学習では、Iルーム・進路指導室・図書館といった「場所の資源」、教員や友人といった「人の資源」を活用することについて話しました。学校の中には、ちょっとしたスキマ時間を有効活用できる場所や、落ち着いて学習に取り組める環境が整っています。そろそろ「自分に合った学習場所・時間」を見つけていきましょう。2年生の10月以降に急に始めるのではなく、今からできることです。

先日、Iルームでは、3年生と同じ空間で集中して学習に取り組む80期生の姿が見られました。このように、一步を踏み出している人、それを継続している人もいます。なお、2年生の普通教室は教員の付き添いがあれば放課後も使用可能です。ただし、電灯の消し忘れや窓の開けっぱなし

には十分注意してください。

■ 進路・目標の「決め方」について

スタディサポートの結果で気になった点の一つに、「進路や目標の決め方がわからない」という回答がありました。80期生の約1割が、この不安を挙げています。家庭学習時間が十分でないことや、「成績を伸ばしたいが方法がわからない」という悩みと結びついているのも自然なことかもしれません。

どうやって決めるのか。もしも未来があらかじめ用意されたパッケージのように存在していたら、それに従う方が楽かもしれません。しかし実際にはそのようなものはなく、自分が出会った「もの・こと・人」の中から、自分の力で選び取っていくことこそが、「進路を決める」ということだと私は考えます。

その選択が最善かどうかは、後になってわかるかもしれませんし、一生答えが出ない問いかもしれません。それでも大切なのは、考え、挑戦し、選び続けることです。

今年もテーマは変わらず、「挑戦しよう！世界を拡げよう！」です。その一つの機会として、「国際STEAMワークショップ inFukushima」があります(昨年は79期生に付き添いました。『風立ちぬ』第14号参照)。JAXA やマサチューセッツ工科大学などから研究者が集まり、英語での交流が行われます(同時通訳あり)。

日本と世界の未来について考える中で、自然と「自分の未来」を見つめることになります。そして、「もっと頑張ろう」と大きな刺激を受けるでしょう。大阪では限られた数校の生徒のみが参加できる貴重な機会です。興味のある人はぜひ挑戦してください。

申込締切は12日朝8時、荒木首席まで。